

# 人文科学研究所研究叢書

## 2『希望と幻滅の軌跡－反ファシズム文化運動』

1987年3月30日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格3,500円（税別）

はじめに	
第一章 フランス・プロレタリア文学論争序説	高橋 治男
第二章 両大戦間フランスの政治的演劇 —《パリ労働者劇団》と《十月グループ》をめぐって—	相磯 佳正
第三章 亡命への演劇 —ブレヒトとヴォルフに見る労働者階級との協働—	五十嵐 敏夫
第四章 フォトモンタージュの政治的機能 —『A-I-Z』とジョン・ハートフィールド—	石黒 英男
第五章 フランス人民戦線の＜文化革命＞の一側面 —有給休暇と＜余暇の組織化＞—	広田 功
第六章 ＜孤島＞時期の上海 —記録文学集『上海の一日』について—	井口 晃
第七章 人民戦線思想とスターリン時代 —覚書風に—	酒井 昌美
第八章 道を求めて —クラウス・マンの亡命への軌跡—	斎藤 佑史
第九章 ジョージ・オーウェルとイギリス共産党のスペイン戦争への対応	吉田 武士
第十章 ヴェルモレルの『ジャンヌは我等とともに』について —パリにおけるドイツ占領下の演劇統制の一例—	橋本 能
第十一章 第二次大戦初期のスタインベック	大浦 暁生
あとがき	
年表	
人名索引	